

---

**【重松様】質問に関してのご回答**

7 件のメッセージ

公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター &lt;ise@syd.or.jp&gt;

2022年2月27日 16:28

To: "tokushima.b.shigematsu@gmail.com" &lt;tokushima.b.shigematsu@gmail.com&gt;

岸和田青年会議所 重松様

お世話になっております。修養団の山崎です。

ご質問のメールをいただきありがとうございます。

ご質問内容につきまして、ご回答致しますのでご確認ください。

**1、コロナ対策について**

昨年と同じように進めさせていただきますが、手指消毒、マスクの着用、健康カードを作成し毎朝の検温を致します。また昨年は廊下に扇風機を配置して館内の換気を致しましたので今年もそのように対応をさせていただく予定です。本団のコロナ対策の詳細につきましては本団HPをご覧ください。

また、コロナ対策で何かご提案がございましたらお教えいただきたく存じます。

**2、開催と中止の基準について**

三重県及び、大阪府に緊急事態宣言が出された場合は実施が難しいと考えますのでご相談をさせていただければと存じます。

それ以外につきましては、基本的には実施する方向で進めて参りたいと考えます。

**3、プログラムの変更について**

こちらでは従前通りプログラムが実施出来るを考えております。コロナによるプログラムの変更は考えておりません。

J C タイムの内容につきましてはご相談をいただければ幸いに存じます。

**4、施設の図面について**

別ファイルを添付致しますのでご覧ください。

**5、入浴時間について**

子供達の消灯後から23時までをお願いしたいと考えております。

**6、シャワーの時間について**

先程お電話でもご説明させていただきましたが、その都度ご相談ください。

あとはプログラムが固まり次第ご相談させていただければと存じます。

## 7、川遊びの備品について

浮き輪が30個ほどありますが、膨らませてみないといくつ使えるかわからないのが現状です。

## 8、準備物について

例年通りのプログラムの場合、ほとんどこちらに備品がありますのでそれをお使いいただければ問題はないかと存じます。

あとはJCタイムの内容によって必要になる物もかわります。あとはプログラムが固まり次第順次ご相談させていただきます。

## 9、JCタイムの場所について

食堂は衛生管理の面からご遠慮ください。あとは基本的にどこを使っても大丈夫です。

過去にはセンター4階大研修室、研修館のマルチルーム、大講堂2階の大広間なども使っております。

## 10、JCメンバーの控室について

例年通り106号室をお使いください。また期間中は岸和田JC様の貸切の予定ですので、今のところ他の団体と一緒にする予定はございません。

以上となります。ご希望の内容に添ってご回答出来ているかわかりませんので、何かご不明な点がございましたらご連絡をいただければ幸いに存じます。

初めてのご担当でご不明な点が多いかと存じますがその都度でも大丈夫ですのでご不明な点はお質問ください。

どうぞよろしくお願い致します。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

公益財団法人 修養団

伊勢青少年研修センター 山崎政弘

〒516-0024

三重県伊勢市宇治今在家町153

TEL:0596-25-0265

Fax:0596-25-0309

[Mail:ise@syd.or.jp](mailto:ise@syd.or.jp)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



重松 崇之 <tokushima.b.shigematsu@gmail.com>

2022年3月3日 13:21

To: 公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター <ise@syd.or.jp>

公益財団法人修養団伊勢青少年研修センター 山崎 様

お世話になっております。公益社団法人岸和田青年会議所の重松です。

お返事が遅くなり、申し訳ございませんでした。

また、とても丁寧にご回答くださり、心より感謝申し上げます。  
ありがとうございました。

さて、今回は、ＪＣタイムの過ごし方について相談させてください。

雨天の日は屋内でジェスチャーゲーム＋食堂での食事（カレー）、  
雨天以外の日は、屋外で大縄跳び＋飯盒炊爨を考えております。

この場合、

- ① お米
- ② 竹又は飯盒
- ③ 火を起こす道具
- ④ 紙、薪（？）
- ⑤ その他

の道具類・準備物の調達については、貴センターと当青年会議所とで、  
例年、どのような役割分担になっておりますでしょうか？

ご不明な点がございましたら、気軽にお尋ね願います。

よろしくお願い致します。

2022年2月27日(日) 16:28 公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター <ise@syd.or.jp>:

[元のメッセージ非表示]

公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター <ise@syd.or.jp>

2022年3月3日 13:37

To: 重松 崇之 <tokushima.b.shigematsu@gmail.com>

公益社団法人岸和田青年会議所

重松 様

いつもお世話になっております。修養団の山崎です。

ご連絡ありがとうございました。

雨天時はアウトドア用のコンロがございますので、例年大講堂の屋根下で野外炊事を実施して  
おりましたが今年はしませんか。

せっかくの機会ですので、余程の大雨が降らない限り実施してあげてはいかがでしょうか。

野外炊事の件についてですが、①～④の準備物はすべてこちらで準備をしておりました。

しかし、②の竹についてですが、例年伊勢青年会議所の皆様からご提供をいただいた竹を使用しておりました。

今年は伊勢青年会議所が実施するのかまだ連絡を受けておりませんので、今年は実施するのか確認をさせていただきます。

[元のメッセージ非表示]

---

This email has been scanned by the Symantec Email Security.cloud service.  
For more information please visit <http://www.symanteccloud.com>

---

---

重松 崇之 <tokushima.b.shigematsu@gmail.com>

2022年3月3日 14:29

To: 公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター <ise@syd.or.jp>

公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター  
山崎 様

お世話になっております。重松です。

早速、丁寧にご回答くださり、ありがとうございました。

なるほど、雨天時でもアウトドア用のコンロがあるんですね。

早速、委員長とも協議させていただきます。

青年会議所のメンバーが少なくなっており、  
野外炊飯する場合の負担や、  
食品ロスの問題にいかに対処するかを考えております。

メンバーが少なくても（10人程度）準備ができるように、  
どのような工夫が考えられるでしょうか？例えば、  
参加児童の数に対応する量のご飯を炊くのではなく、  
8人くらいで1合の米を焚いて、  
焚けたご飯を少しずつ分け合って食べることにし、  
昼食は、ちゃんと食堂でカレーを食べる、ということはできるものでしょうか。  
つまり、みんなで役割分担して、  
火を起こす、ご飯を炊く、炊き立てのご飯を食べる、  
という体験をするのですが、  
野外炊飯で焚く量は、1合くらいにして、すぐに炊けるようにしたり、  
グループの人数を多めにし、  
JCメンバーやリーダーによる子どもたちの監督を容易にする、  
といったことがはたして現実的で可能なものかどうか、ご意見をいただければと思います。

以上、よろしくお願い致します。

2022年3月3日(木) 13:37 公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター <ise@syd.or.jp>:

[元のメッセージ非表示]

---

公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター <ise@syd.or.jp>

2022年3月3日 15:59

To: 重松 崇之 <tokushima.b.shigematsu@gmail.com>

公益社団法人岸和田青年会議所

重松 様

お世話になっております。修養団の山崎です。

ご連絡ありがとうございます。

雨が強く降っており、屋根に吹き込んでくる状況でない限りは実施することは可能です。

ぜひ、前向きにご検討ください。

メンバーが10名もいらっしゃるのでしたら問題なく進める事が出来ます。

基本的には子供達は青年リーダーが中心となって一緒にプログラムを進めます。

その際の安全管理としてJCメンバーの皆様には見回っていただければと思います。

子供達に付きっきりとなる訳ではございませんので、人数が少なくても問題ございません。

また、ご飯の量についてですが、竹飯盒でご飯を炊く場合は一つの竹飯盒で大きさにもよりますが2～3合はないと熱でお米が焦げてしまい炊けなくなりますので、人数分炊いても問題はないかと思います。

竹飯盒の大きさにより丁度よい量のお米が炊けない場合は人数分より多く炊くか少なく炊くかが懸案となります。

その場合は少なく炊いてもらい、追加の分を我々で炊いておくことで足りない分を補充も出来ますし、おかわり用としても対応が出来ますので食品ロスも減らせるかと思います。

また、野外炊事で大切なことはそれぞれに役割があるという事です。

一つの仕事に掛かる子供達の割合が高いと、一か所に人が集中してしまい怪我の原因となります。

そのため、ご飯の炊く量を過度に少なくしたり（竹飯盒の数を減らす）、グループの人数を増やしたりしますと役割が少なくなり、子供が一ヶ所に集中するリスクが高まります。

8人グループでしたら、2～3合の竹飯盒を二つ用意することで一つの竹飯盒に掛かる子供達の割合を減らすことが出来るので、その方が安全管理の面からも良いかと思います。

その他、ご不明な点がございましたら、ご連絡をいただければ幸いに存じます。

[元のメッセージ非表示]

---

重松 崇之 <tokushima.b.shigematsu@gmail.com>

2022年3月3日 23:05

To: 公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター <ise@syd.or.jp>

伊勢青少年研修センター 山崎 様

お世話になっております。岸和田青年会議所の重松です。

いつもとても丁寧にご回答くださり、本当にありがとうございます。

とてもわかりやすく、助かります。

私は、サマースクールに途中から参加させていただいたことがあるものの、

最初から最後まで参加したことがなく、

変な質問ばかりしてしまって恐縮する次第ですが、引き続きよろしくお願い致します。

青年会議所の任務として、私が考えておりますことは、

プログラムを実施していく過程で、どのようなリスクがあるかを正しく見極め、

そのリスクに対する対策をしっかりと講じることだと考えております。

その観点から、次の点について、ご教示いただきましたらさいわいです。

1 キャンプファイヤーについて

(1) どんな危険があるでしょうか？

(2) その危険が現実化しないためにどのような役割がＪＣに期待されますでしょうか？

2 レクリエーション・飯盒炊爨

(1) どんな危険があるでしょうか？

(2) その危険が現実化しないためにどのような役割がＪＣに期待されますでしょうか？

※ この点については、おおむね、山崎様にご回答いただいていると認識しております。

3 水遊び

(1) どんな危険があるでしょうか？

※ 過去に水難事故はありましたか？あればどのような事故で原因は何でしたでしょうか？

※ 水深はどれくらいでしょうか

※ 川べりで足をケガするおそれはないでしょうか

※ 児童１人あたり、リーダー以上の人はどれくらいつくでしょうか。

(2) その危険が現実化しないためにどのような役割がＪＣに期待されますでしょうか？

いつも質問ばかりで申し訳ございません。

以上、よろしくお願い致します。

2022年3月3日(木) 15:59 公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター <[ise@syd.or.jp](mailto:ise@syd.or.jp)>:

[元のメッセージ非表示]

---

公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター <[ise@syd.or.jp](mailto:ise@syd.or.jp)>

2022年3月7日 12:02

To: 重松 崇之 <[tokushima.b.shigematsu@gmail.com](mailto:tokushima.b.shigematsu@gmail.com)>

公益社団法人岸和田青年会議所

重松 様

お世話になっております。修養団の山崎です。

ご連絡が遅くなり申し訳ございません。

子供達の体験活動にはリスクはつきものですので、ご不安な点は尽きないかと思えます。

そのためこうしてリスクについて情報共有が大切な事かと思えますので、今後も情報共有が出来ればと思います。

さて、ご質問の事についてご回答致します。

### 1、キャンプファイヤーについて

(1) 一番に挙げられるのは火傷となります。キャンプファイヤーは火の規模が大きくなりますので近寄ることにより火傷の心配があります。

(2) 対策と致しましては発表する子供達以外の見ている子供達をきちんと座らせるという事かと思えます。また、ある程度の火の大きさに収まるように、私含めてファイヤーキーパーで火の大きさを調節致します。

### 2、野外炊事について

(1) やはりこちらも火傷の心配があります。また、ナタを持っているリーダーもおりますので指を切ったりする心配があります。

(2) 火に多くの子供達を関わらせない事です。そのため、それ以外の役割を設けることにより火から子供達を遠ざけることが出来ます。また、竹飯盒の場合は竹を割る関係でリーダーがナタを持っていますので、竹を割る際にナタを振り上げた直線上には子供がいないようにする等の対応が必要かと思えます。

### 3、川遊びについて

(1) 一番は溺れるという事かと思えます。五十鈴川の私達が川遊びで使う場所が一番深くて3メートル程の水深があります。過去に水難事故は発生しておりませんが、川遊びに関しては細心の注意が求められます。また、川辺は石がゴロゴロしている関係で走ったりすると躓いて怪我の原因となります。

(2) 安全ラインとしてロープを張りますが、そのラインをどの深さで設定するかだと思われれます。基本的には私達大人の胸の深さまでは行かないように考えておりますが、子供達は遊びに夢中になるあまり、奥へ奥へと進みますので、安全ラインに立っている大人も奥へ押し込まれます。そのため、川辺から安全ラインの管理をする人が必要かと思えます。また、川辺では石がゴロゴロしておりますので走らない等の注意喚起も必要かと思えます。あとは子供達と遊ぶことに集中し過ぎてしまうあまり、低学年の子供から目を離してしまわないようお願い致します。必ず、視野に入れているようにリーダーにも注意喚起を致しますが、J Cメンバーの皆さんもお願い致します。

以上のような回答となりますが、いかがでしょうか。

重松さんの考えた回答と違っておりましたら、何なりとお尋ねください。

また、その他にもご不安な点がございましたらご連絡をいただければ幸いに存じます。

電話でもお受付をしておりますので、私の携帯電話の番号を記載致しますので、電話でも大丈夫です。

山崎携帯：090-9019-4208

[元のメッセージ非表示]